

- 問1 鎌倉幕府が土地管理や年貢徴収を行わせるために、各所に配置した役職を何という？
- 問2 鎌倉時代に、踊り念仏を広めて時宗を開いた僧侶は誰？
- 問3 武士の気風を反映し、写実的で力強い特徴を持つ、鎌倉時代に栄えた文化を何という？
- 問4 「（空欄）…、諸行無常の響きあり」という一節で始まる、平氏の滅亡を描いた物語を何という？
- 問5 鎌倉時代、幕府の打倒をめざして拳兵し、敗れて隠岐に流された人物は誰？
- 問6 北条泰時が制定した、日本最初の武家法の別名を何という？
- 問7 東大寺南大門に安置されている、力強い表現が特徴の金剛力士像を制作した仏師は誰？
- 問8 鎌倉時代後期に、困窮して幕府の支配に抵抗するようになったかつての幕府の味方は誰？
- 問9 法然が掲げた、ただ念仏を唱えるだけで救われるという教えを何という？
- 問10 承久の乱の後に、京都で朝廷の監視や西国の統治を行う六波羅探題を設置した人物は誰？
- 問11 鎌倉時代の武士の間で行われていた、子どもたちに領地を分け与える相続方法を何という？
- 問12 『東方見聞録』を記した、モンゴル帝国のフビライ=ハンのもとを訪れたイタリアの旅行家は誰？
- 問13 鎌倉時代の将軍と御家人の間の「御恩」と「奉公」によって成り立つ結びつきを何という？
- 問14 浄土真宗において、武士以外に強く支持された、当時の生産活動を担う人々を何という？
- 問15 鎌倉時代に東大寺南大門を再建し、大仏様の建築様式を取り入れた僧侶は誰？
- 問16 1232年に日本最初の武家法を制定した、鎌倉幕府の三代執権は誰？
- 問17 鎌倉時代の力強い武士の気風を反映し、東大寺南大門に安置されている、運慶らによって作られた有名な彫刻を何という？
- 問18 1232年に日本初の武家法である『御成敗式目』を制定した、鎌倉幕府の第3代執権は誰？
- 問19 鎌倉幕府において、将軍が御家人に領地などを与えることを何という？
- 問20 鴨長明が著した『方丈記』のように、作者自身の見聞や感想などを自由な形式で書いた文章のジャンルを何という？
- 問21 鴨長明が乱世における世の無常を記した、日本三大随筆の一つとされる作品を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 地頭	地頭は、荘園や公領において土地の管理、犯罪者の取り締まり、そして年貢の徴収を行うために配置されました。これにより、幕府は全国の武士を統制する強力なネットワークを得ました。
問2	答え 一遍	一遍は全国を旅しながら、念仏を唱えて踊る「踊り念仏」を行うことで、阿弥陀仏の教えを広めました。彼が始めた宗派は時宗と呼ばれ、身分に関係なく多くの民衆から支持を集めました。
問3	答え 鎌倉文化	鎌倉文化は、武士の気風や、新しく起こった仏教の影響を受けています。彫刻では写実的で力強い表現が、文学では『平家物語』のような軍記物語が人々に親しまれました。また、禅宗の影響を受けて、簡素で力強い美意識が確立されたのも大きな特徴です。
問4	答え 祇園精舎の鐘の声	『平家物語』は、この冒頭のフレーズが示す通り、栄えたものも必ず衰えるという「諸行無常」の思想を根本に置いています。鎌倉時代に成立したこの物語は、個人の生きざまや戦の悲哀を鮮明に描き、当時の文学としての到達点を示しました。
問5	答え 後鳥羽上皇	1221年、上皇は全国の武士に対して幕府討伐の院宣を出し、挙兵しました。これが「承久の乱」です。しかし、北条政子らの主導により幕府軍が迅速に対応したため、朝廷側は敗北しました。その結果、首謀者である後鳥羽上皇は隠岐へ流されることとなりました。
問6	答え 貞永式目	この時に制定された法律は「御成敗式目」として知られていますが、制定された年号をとって「貞永式目」とも呼ばれます。貴族の慣習ではなく、武士たちの間に蓄積されてきた慣習を尊重したのが特徴で、武士だけでなく、当時領地を管理する上で法的保護を必要としていた人々にとっても重要な指針となりました。
問7	答え 運慶	運慶は、それまでの仏像と異なり、筋肉の動きや表情の細部までリアルに表現する彫刻手法を確立しました。快慶らとともに制作した東大寺南大門の金剛力士像は、その写実的な表現の頂点といえます。この様式は、当時の人々に強い精神的なインパクトを与えました。
問8	答え 御家人	経済的に追い詰められた御家人は、借金を重ねるなどして没落していきました。その結果、一部の御家人は荘園領主の土地を奪ったり、幕府の命令を無視して年貢の徴収を妨害したりする「悪党」となりました。この存在は、鎌倉幕府の支配体制が全国的に崩壊しつつあることを象徴しています。
問9	答え 専修念仏	専修念仏は、複雑な修行や学問を必要とせず、ただ「南無阿弥陀仏」と念仏を唱えるだけで、阿弥陀仏の救いを受けて浄土へ往生できるという教えです。法然によって提唱されたこの思想は、難しい修行ができない庶民にも広く理解されました。
問10	答え 北条泰時	北条泰時は、北条義時の長男として活躍し、乱の直後に京都に六波羅探題を設置して政治基盤を固めました。また、武士の習慣に基づく日本初の武家法典『御成敗式目』を制定し、公平な裁判の実現に努めました。
問11	答え 分割相続	当時の武士社会では、家督を継ぐ長男だけでなく、他の兄弟にも領地を分ける分割相続が一般的でした。これにより、相続のたびに個々の武士が持つ土地が細分化され、一つの家が持つ経済力が低下していきました。
問12	答え マルコ・ポーロ	マルコ・ポーロはヴェネツィア出身の商人であり、中央アジアを通して元の都（大都）へ渡り、フビライ=ハンに仕えました。帰国後に投獄された際、同房の人物に語り聞かせたアジアの記録が『東方見聞録』としてまとめられました。
問13	答え 主従関係	主従関係とは、将軍が土地を保障する「御恩」と、御家人が軍役を果たす「奉公」が対になったものです。この契約的な関係により、将軍は御家人を束ね、軍事力を維持しました。土地を媒介として「御恩と奉公」を繰り返すことで、幕府は全国の武士を支配下に置くことができました。
問14	答え 農民	親鸞の教えは、難しい経典を必要としないため、読み書きが苦手な農民にも広く浸透しました。当時の厳しい生活環境の中で、平等に救われるという教えは、人々の大きな支えとなりました。これにより、各地で門徒と呼ばれる信者の集団が形成され、大きな勢力となりました。
問15	答え 重源	重源は朝廷や幕府の協力を得て、東大寺の再建という大事業を主導しました。その際、中国（宋）の新しい技術である「大仏様（天竺様）」を導入し、太い木材を組み合わせて強度を高める力強い建築を行いました。この様式は、当時の武士の気風や鎌倉時代のたくましい文化を象徴するものとなりました。
問16	答え 北条泰時	北条泰時は、連署の北条時房と共に「御成敗式目」を制定しました。これは武士社会の実態に合わせた最初の法律で、全51条からなり、土地争いの解決などを重視していました。泰時は、自らの家系が権力を持つ中であっても、法に従って公平な判決を下すことを重視し、執権政治を安定させました。
問17	答え 金剛力士像	東大寺南大門に安置されている金剛力士像は、運慶や快慶らによって作られました。筋肉の隆起や力強い表情など、非常に写実的かつダイナミックな表現が特徴であり、当時の力強い武士の精神性が彫刻にも表れています。
問18	答え 北条泰時	北条泰時は、御家人の利益を守り、争いを解決するために「御成敗式目」を制定しました。これは武士社会の道理に基づいた最初の法律であり、裁判の公平性を担保する役割を担いました。
問19	答え 御恩	「御恩」とは、幕府が御家人に対して本領安堵（先祖代々の領地の支配を認めること）や、新恩給与（新しく獲得した土地を与えること）を行うことです。御家人はこれに対する見返りとして、戦いの際に軍役を果たしたり、番役を務めたりしました。
問20	答え 随筆	随筆は、特定の形式にとらわれず、著者が感じたことを素直に綴る形式です。鴨長明の『方丈記』は、社会の無常を独自の視点で捉えた傑作として、中世文学の代表とされています。
問21	答え 方丈記	『方丈記』は、こうした激動の時代を生きた鴨長明による随筆です。作者自身が世俗を離れて山の中に住まい、人々の苦しみや災害の恐ろしさ、そしてこの世がいかに儚いものであるかを鋭い洞察で綴っています。「ゆく河の流れは絶えずして」という有名な冒頭文は、鎌倉時代の文学を象徴する無常観を端的に表しています。